



●はじめに	P.1
●洪水・土砂災害ハザードマップの使い方	P.2
●ハザードマップの見方	P.3
●全域図	P.4
●洪水・土砂災害ハザードマップ	P.5 ~ P.26
●洪水時の浸水想定	P.27 ~ P.28
●洪水時の避難判断チャート	P.29
●避難所一覧	P.30
●避難の知識	P.31 ~ P.36
●防災の心得	P.37 ~ P.38



はじめに

甲州市は、一級河川である笛吹川とその支流である日川、重川が流れ、東部から北部へかけて多くの山々が連なり広大な山岳地帯が広がるなど、豊かな自然に囲まれています。一方、急峻な箇所も多く、豪雨、暴風、洪水、がけ崩れ、地すべりなど様々な自然災害が発生しやすい環境下でもあります。

近年は気候変動や社会・産業構造の多様化に伴い、大規模災害発生の危険性が指摘されています。これまでも全国各地で様々な大規模災害が発生しており、令和元年10月の台風19号においては、甲州市でも1日降水量が222.5mmを観測するなど記録的な豪雨となりました。また、土砂災害は豪雨だけでなく地震によって発生する場合もあり、私たちはいつ起きるとも知れぬ自然災害に対して、そのリスクを十分に理解する必要があります。

甲州市では住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的に、市の防災に関する基本的事項を総合的に定めた「甲州市地域防災計画」を策定しています。災害の軽減には、恒久的な災害対策と災害時の効果的対応が重要ですが、これらは一朝一夕に成せるものではなく、行政、地域、住民それぞれが防災に向けて積極的かつ計画的な行動と相互協力の地道な積み重ねにより達成するものです。

本ハザードマップを活用し、いざというときに命を守るためにどうすればよいかを学び、洪水・土砂災害といった自然災害に対して日ごろから備えていきましょう。

洪水・土砂災害ハザードマップの使い方

① 家の位置を確認しましょう。

あなたの家の場所をマップに書き込みましょう。



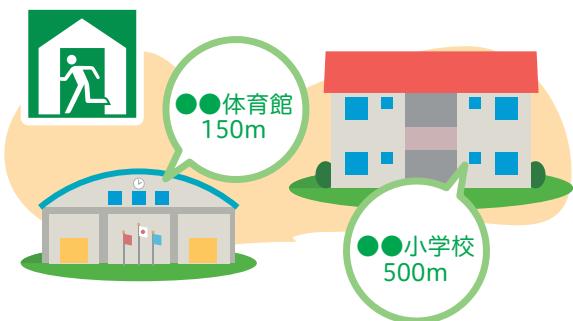
② 家の周りの災害の危険性を確認しましょう。

あなたの家は浸水が想定されている区域ですか？
土砂災害の警戒が必要な区域ですか？



③ 避難所を確認しましょう。

最寄りの避難所や次に近い避難所までの距離を確認しましょう。



④ 避難経路を考えてみましょう。

災害の危険性や狭い道路を避け、安全な避難経路を確認しましょう。



⑤ 実際に避難所まで歩いてみましょう。

地図で選択した避難経路が安全かどうか、その他の避難経路についても確認しましょう。



⑥ 災害や避難について、話し合ってみましょう。

あなたの家だけでなく、家族の職場やよく行く場所などについても避難所や危険性を確認しましょう。



ハザードマップはあくまでも想定図です。雨の降り方や土地の状態によっては、地図に示された区域以外でも洪水や土砂災害が発生することがありますので、十分に注意してください。想定と異なる状況になっても、ハザードマップを活用して事前に災害や避難についてイメージすることができれば、いざというときに慌てずに行動することができます。

また、ハザードマップにはいろいろな防災情報を掲載していますので、あらかじめ目を通し、災害に対する日ごろの備えとしてください。



ハザードマップの見方

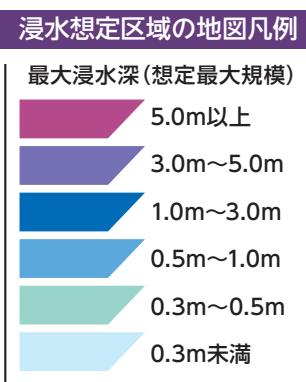
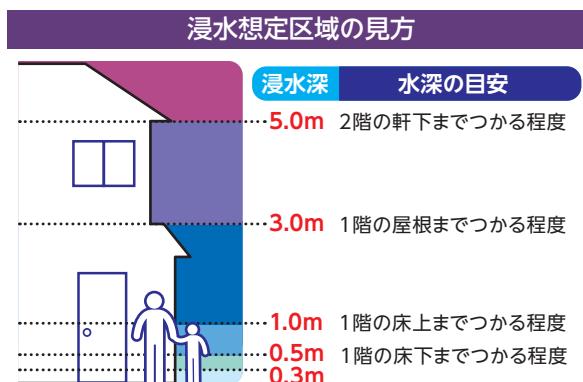
●洪水災害に関するマップの見方

本ハザードマップは、山梨県が公表している日川・重川において想定される最大規模の降雨が発生し、両河川がはん濫した場合に予想される浸水想定結果を重ね合わせ、想定される最大規模の浸水深を示しています。

浸水想定条件	
富士川水系 日川	流域内の2日間降雨量 632mm
富士川水系 重川	流域内の2日間降雨量 632mm

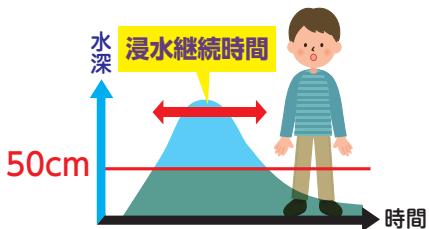
●浸水想定区域とは

河川のはん濫等により水がつかる区域と、その時の最大の水の深さを示します。マップでは想定される最大規模の浸水時の浸水深を記載しています。



●浸水継続時間とは (P.27~)

50cm以上の浸水深が継続する時間です。



●はん濫流・河岸侵食とは

はん濫流

河川堤防の決壊または洪水はん濫により、家屋倒壊等のおそれがある区域

地図凡例 はん濫流

河岸侵食

河川の流れにより河岸が削られ土地が流出するおそれがある区域

地図凡例 河岸侵食

はん濫流・河岸侵食の指定区域や、最上階が浸水するおそれがある場所が早期の避難が必要となる区域です。

●土砂災害に関するマップの見方

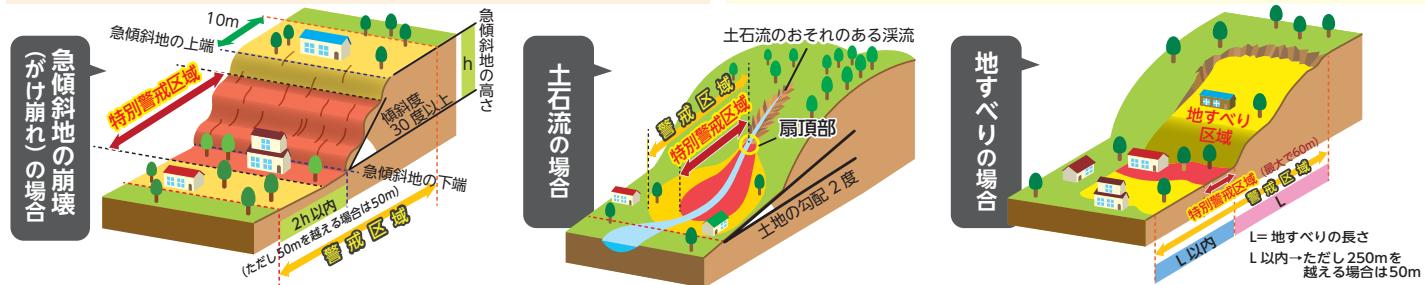
土砂災害の主なものに、急傾斜地の崩壊(かけ崩れ)、土石流、地すべりがあります。これらの土砂災害について、山梨県により発生のおそれのある区域が指定されており、被害の危険度に応じて土砂災害特別警戒区域と土砂災害警戒区域に分かれています。

土砂災害特別警戒区域 とは

急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりが発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、特定の開発行為に対する許可制や、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域 とは

急傾斜地の崩壊や土石流、地すべりが発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。



土砂災害の種類	急傾斜地の崩壊（かけ崩れ）	土石流	地すべり
前兆現象	●かけから小石がピラピラと落ちてきた ●かけに割れ目ができた ●かけから水が吹き出してきた	●山全体がうなっている(山鳴りがする) ●川の水が濁ったり、流木が混ざったりする ●雨が続いているのに川の水が減っている	●地面がひび割れた、一部が陥没あるいは隆起した ●地下水などの水が濁った ●池や湖の量が急に変化した
地図凡例	 	 	 ※甲州市に地すべり特別警戒区域はありません。